

全組合員怒りの決起！ 1.30「再建デッチ地本大会」を粉碎！

日刊 動労千葉

81.2.2
No647

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）四三三〇・二七二〇七

動揺消耗き深める本部派組合員が集まらず大破産！

全組合員のみなさん！ ゆれゆれは、一月二七日銚子支部臨時大会において「本部巡業務再建」デッチ上げ支部「再建」策動粉碎の勝利にひき続いて、破産と動揺を深める動労「本部」反動分子が権力株動隊に守られて強行せんとした千葉市・労働者福祉センターにおける一・三〇デッチ上げ「再建千葉地本大会」を粉碎するという決定的な勝利をかちとった。

この偉大な勝利を勝ちとった「ヤ一」の要因は銚子支部組合員が！ 27臨時支部大会で満場一致で「業務再建」反対「動労本部」にはつかないという勇気ある正しい決断を下したことであり、**ヤ二**に動労千葉全組合員が一月総決起行動をもって連続したデッチ上げ「再建」策動粉碎闘争を一刻も気をゆるめず貫徹しぬいたからであり、そのことよって「本部」派組合員が動揺を深め「大会」当日、誰一人として「大会」会場に集まらうとせず完全に空中分解してしまっただことによる。**ヤ三**にこの闘いを支えた動労千葉の△三里塚・ジェット闘争と35万人体制粉碎闘争を結合し、動労大改革「日本労働運動の戦局的転換を目ざす」という路線の正しさ・適確さとしてかちとられたものである。

七〇〇名の外人部隊(動員者)が、五〇〇名の株動隊に守られた「大会」会場で五時間以上もアクビしながら待ちぼうけ

一月二七日、銚子支部「本部」派「業務再建」否決という決定的破産に直面した「本部」革マル反動分子は完全におせん立てが崩れてしまいい焦ってしまった。「銚子再建なる！」さあ次は地本の再建だ！と株動隊にまで大宣伝し、全国へ「一・三〇再建千葉地本大会」への動員指示を下し、よせばいいのに各単産・政党内係にペテンにみちた、招請状まで発送してしまっただ手前、いまさら中止することもできず、結局、銚子を見捨てて、なけなしの新小岩・津田沼・佐倉の他局からの短期転勤者を主体として何とかデッチ上げた数十名に満たない極少数「本部」派組合員を狩り出し、奥体も展望もない架空の「再建千葉地本大会成功」を描き出すために、仰々しいパテン的茶番劇をしくみ、四苦八苦しながら全国の組合員をペテンにかけ引きまわす事に終始したのであった。

全地本委員長、関東地評内各支部長、青年部長、東京新幹線地本組合員等、総数七〇〇名を、朝の九時半から「大会会場」千葉市労働者福祉センターにかき集め



これぞ、彼らのデッチ上げ「再建」の本質！ 株動隊に守られた「大会」会場

「招待状を県内政党内組関係者に送ったまひはよいが、だれ一人として責任ある人は参加せず、結局「再建大会」なるものは開催されず、待ちくたひいた動員者は午後四時完全武装の株動隊に徹底的保護され千葉駅まで送ってもらい、不満たらたらスゴスゴと帰路についたのであった。

権力当局に公然と協力要請し、再建を策した「本部」弾劾

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！